

障害者支援施設 障害者福祉センターあさひ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、利用者の「地域の中で、共に働き、共に育み、共に暮らす」を実現するため、個別支援計画に沿って一般就労、地域移行を推進し、利用者の希望に沿った生活ができるよう支援する。

2 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

（1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和3年度中の入退所状況										利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数	
			入所人員	退所人員	退所理由別						サービス変更	他				
					地域移行		家庭復帰	施設移管	死亡	就職						
区分	定員			GH	アパート等											
継続B型	84	102	1	9	0	0	0	5	0	0	3	1	17,050	83.2%	94	
内さきゆう	20	18	0	4	0	0	0	3	0	0	0	1	3,918	80.3%	14	
生活訓練	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	532	36.3%	4	
施設入所	30	12	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3,929	35.9%	10	
2年度	継続B型	84	101	6	5	0	0	0	4	1	0	0	18,564	91.3%	102	
	内さきゆう	20	19	0	2	0	0	0	2	0	0	0	3,552	73.4%	18	
	生活訓練	6	5	0	2	0	0	0	1	0	0	1	532	36.6%	3	
	施設入所	30	13	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4,527	41.3%	12	

（2）障害支援区分

①就労継続B型

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	17	4	12	21	9	2	0	65
内さきゆう	2	0	2	2	1	0	0	7
女性	9	1	5	11	3	0	0	29
内さきゆう	3	0	0	2	2	0	0	7
計	26	5	17	32	12	2	0	94
内さきゆう	5	0	2	4	5	0	0	14

③生活訓練

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	1	0	1	0	1	0	0	3
女性	1	0	0	0	0	0	0	1
計	2	0	1	0	1	0	0	4

④施設入所支援

（人）

性別	障害支援区分							計
	無・非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	2	2	4	1	0	9
女性	0	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	2	3	4	1	0	10

3 事業の実施状況

(1) 新施設移行に向けた準備・対応

- ア 事務局・はまなす園と定期的に会議を開き、円滑に移行できるように準備を行った。
- イ 生活介護サービス事業について、白兔はまなす園の生活介護事業の活動状況を見学し、利用者本人の意向を伺いながら個別支援計画見直し時に説明を行うとともに、相談支援事業所のモニタリング時にも本人の意向を確認し、家族の希望も伺いながら円滑に移行できるように努めた。
- ウ 白兔はまなす園と納品等協力体制を図り業務の効率化に努めた。
また、廃止も含めた作業種の見直しを検討した。

(2) 工賃の目標

- ア 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自主事業（パン・喫茶）がイベントの中止、外販・外食の自粛等により収入減となった。
この状況の改善に向け販路拡大・テイクアウト・配達を行い収入増に努めた。
平均工賃額は10,800円にとどまった。
- イ 給食用パンの売り上げ向上の参考にするため、各施設への聞き取りを行い収入の安定に努めた。
- ウ 統合に向け工賃支給規程を見直し、適正な分配方法の検討を行った。

(3) 利用者支援の充実

- ア 本人のニーズに沿ったアセスメントに基づく個別支援計画を作成し、目標達成のため支援を行った。
- イ 利用者の健康管理に努め、各医療機関と連携を図りながら病気の早期発見に努めた。
口腔ケアの実践については不十分であり、声かけ・定期的に歯科通院しクリーニングを行った。
- ウ 障がい特性を理解するため強度行動障がい支援者養成研修に参加した。

(4) 経営の効率化

- ア 通所利用者増を目指し相談支援事業所に依頼し情報収集するが、新規利用者は少なく稼働率アップには繋がらなかったが、経費削減には努めた。
- イ 特別支援学校の実習受入は行ったが、コロナ警報発令中は受入を中止することもあった。
- ウ 目標稼働率の設定と実績
就労継続B型 83.2%（目標：95%）、生活訓練 36.3%（目標：40%）、
施設入所支援 35.9%（目標：38%）、短期入所 20.8%（目標：42%）、

(5) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

- ア 茶房あさひを開放し、地域の方に提供することで交流を図った。
- イ バス停の掃除もセンター内施設持ち回りで行った。
- ウ コロナ禍の影響あり公民館活動の自粛に伴い、昨年同様地域貢献は行っていない。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
社会福祉士実習	5月、6月	2人	5人
計		2人	5人

(2) ボランティアの受入実績

実績なし

5 附帯事業

- (1) 短期入所事業 定員 空床型
 (2) 日中一時支援事業 定員 上記同様
 (3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	4	68	3	126
日中一時支援事業	0	0	0	0

6 就労支援事業の実績

作業班	3年度目標額	実績額	達成率	作業の内容
受託作業班	5,300,000円	5,290,982円	99.8%	電気・ドア部品加工袋詰め、おしぼり加工、ナット・ワッシャー袋詰め、端子加工、シール貼り、トイレトーパー、強性紙、板締め等
施設外班	7,950,000円	7,643,772円	96.1%	企業内ライン作業、企業内清掃作業
喫茶班	1,800,000円	2,132,790円	118.5%	コーヒー、軽食等の販売、配達
パン製造班	11,750,000円	11,818,329円	100.6%	パン製造・販売、出店
さきゅう作業所	2,400,000円	2,281,448円	95.1%	弁当箱フタ組立、シール貼り、タオルたたみ、紙器組立、リード線加工等
計	29,200,000円	29,167,321円	99.9%	